

様式第2号（第5条関係）

令和8年2月10日

出張報告書

栗山町議会議長 鶴川和彦様

栗山町議会議員 鈴木千逸



このたび、下記のとおり出張いたしましたので報告します。

記

- 1 期 日 令和8年2月10日
- 2 旅 行 先 オンラインによる研修
- 3 目 的 廣瀬行政研究所セミナー受講
- 4 関 係 書 類 別紙のとおり



予算書の読み解きと 質問・質疑のポイント

2月10日(火) in 京都

同時開催！
オンラインセミナー



講師：横田慎一

【横田慎一公認会計士事務所所長・一般社団法人行政経営支援機構理事長】

地方公会計や行財政改革、施設マネジメント、公営企業会計など行政経営に関する様々な業務に関与。包括外部監査人や監査専門委員、入札監視委員会、指定管理者選定委員会など多数の公的委員を歴任。日本公認会計士協会において「公会計・監査検討専門委員会」専門委員を務め、自治体監査基準や内部統制制度に関わる。実務とともに行政経営の研究にも取り組み、多くの自治体が抱える行政課題に対して理論と実践の両面から、再現可能性のコンサルティング業務に努めている。著書「公会計と公共マネジメント」「地方議会による事業別会計情報活用の効果に係る分析—町田市議会を事例としたテキストマイニング」など。その他研究論文多数。

10:00～13:00

基礎編と歳入編

1. 予算制度の概要
2. 質問・質疑の効果と課題
3. 歳入にまつわる地方財政の動向
4. 予算書の読み解きと質問・質疑のポイント（歳入編）

14:00～17:00

歳出編・まとめ

1. 歳出にまつわる地方財政の動向
2. 予算書の読み解きと質問・質疑のポイント（歳出編）
3. 実務を動かす質問・質疑を目指して（まとめ）

(株)廣瀬行政研究所

お申込みはホームページからお願いいたします。

廣瀬行研

検索

※ホームページからお申込みいただけない場合は、
下記FAX申込書にご記入の上、事務局宛にお送り下さい。
※もしくは下記QRコードより申込ください。

<https://www.hirosegyoken.jp>

参加希望講座のチェックボックスに
 をお願いいたします。

FAX 申込書 ➡ 03-6912-2280

フリガナ	
お名前	
貴所属先	
領収書 お宛名	
ご住所	(〒 -)
TEL	() -
FAX	() -
E-mail	@

2月10日(火) 10:00~13:00 京都

基礎編と歳入編

2月10日(火) 14:00~17:00 京都

歳出編・まとめ

※オンラインによる受講をご希望される方は、
チェックボックスに をお願いいたします。

オンライン受講

※オンライン受講ご希望の方は必ず Email をご記入ください。

★キャンセルは7日前までにメールまたはFAXにてご連絡ください。
※お申し込み後、事務局から受講確認書をFAXにてご送付させていただきます。
※受講確認書をご覧いただき、受講料は事前にお振込みをお願いいたします。
※おひとり様につき1つの講座の申し込みが必要です。
※オンライン受講の際、1つの講座の申し込みで複数人が視聴することはできません。

受講料

1講座受講 15,000円(税込)

2講座受講 25,000円(税込)

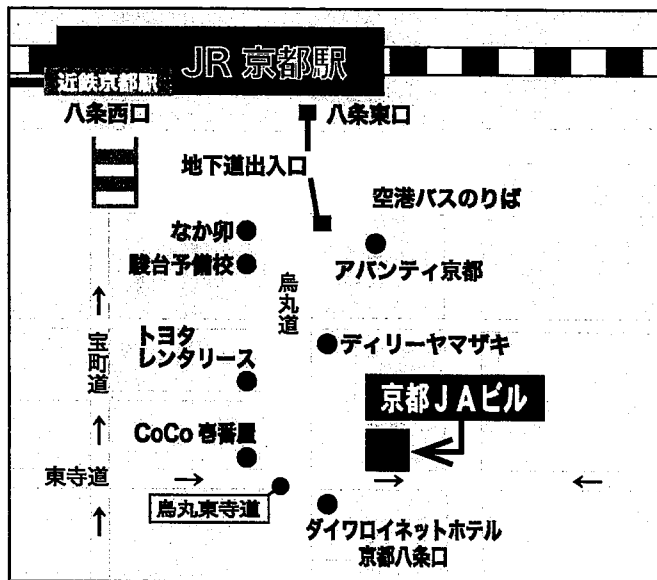
開催場所

京都JAビル

JR京都駅 八条口より徒歩5分
近鉄京都駅 八条口より徒歩7分
市営地下鉄(烏丸線)京都駅 八条口より徒歩5分
市営地下鉄(烏丸線)九条駅 徒歩4分

午前の申込はこちら

午後の申込はこちら



お問い合わせ・事務局

(株) 廣瀬行政研究所

112-0011 東京都文京区千石 2-34-6
TEL 03-6912-1930 FAX 03-6912-2280

<https://www.hirosegyoken.jp>

日 時	令和8年2月10日 10:00~17:00
視 察 先	自宅（オンライン受講）
調査事項	「予算書の読み解きと質問質疑のポイント（基礎編と歳入編）」 「予算書の読み解きと質問質疑のポイント（歳出編とまとめ）」
対 応 者	公認会計士・税理士・博士（商学）横田慎一氏
1. 視察目的 2. 視察内容 ① 背景 ② 特徴 3. 主な質疑 4. 考 察 (感想、政策提 言、課題など)	<p>横田先生による予算書の歳入と歳出をはじめとする質問と質疑のポイントについての講義></p> <p>基礎編と歳入編</p> <p>1 予算制度の概要 2 質問・質疑の効果と課題 3 歳入にまつわる地方財政の動向 4 予算書の読み解きと質問・質疑のポイント（歳入編）</p> <p>上記の手順で講義は進められた。 一般的な予算編成のながれについて総務省の地方財政の見通しや予算編成上の留意事項等についての説明をいただいたり、増額修正や減額修正が可能なことの説明をいただいた。 款項目節についての説明や地方譲与税・交付税についての解説もあった。</p> <p>歳出編・まとめ編</p> <p>1 歳出にまつわる地方財政の動向 2 予算書の読み解きと質問・質疑のポイント（歳出編） 3 実務を動かす質問・質疑を目指して</p> <p>後半は上記の手順で講義は進められた。 歳出には目的別によるものは予算書の款に基づく区分となり、性質別によるものは節に区分されている。消耗品費、会議費、光熱水費、修繕料などはチェックが必要であるし、業務委託料や指定管理料なども要注意の項目である。繰り出し金についても妥当性については単年度だけでなく経年で見ることがある。 まもなく、令和8年度の予算書が配布され予算委員会が開催されるが、事業別予算書と併せて町の予算について見ていきたいと思う。</p>